

専攻コース院生会員への補助事業

「うむ」院生展2016」上越教育大学大学院芸術系教育実践コース(美術)

教科・領域教育専攻芸術系教育実践コース(美術)大学院1年 家崎萌

2016年12月1日(木)～12月4日(日)に、上越教育大学大学院学校教育研究科教科・領域教育専攻芸術系教育実践コース(美術)有志による展覧会を、大学院同窓会より補助金をいただき、町家交流会館高田小町(上越市本町6丁目)にて開催いたしました。

本展覧会は毎年美術コースの大学院1年生が中心になって企画運営されます。今年度は、留学生や社会人、ダンス、地学など、異ジャンルからバラエティに富

んだメンバーが集まったことからテーマを「うむ」とし、自己の制作の質を高めるだけではなく、互いの違いをぶつけ合い、新たな価値を生み出すことをコンセプトとしました。

第一会場である多目的ホールでは、彫刻や絵画など専攻分野の研究やアカデミックな取り組みについて分かりやすく展示を行いました。また、図版を積極的に取り入れたポर्टフォリオを自由に閲覧可能な状態に設置したことで、来場者か

らは個々の取り組みの方向性がよく分かる」と好評を頂き、来場者と制作者とのやりとりを増やすこともできました。

第二会場の蔵ギャラリーでは、空間インスタレーションとして蔵全体をメンバー全員でプロデュースするというテーマのもと、天井まで届きそうな巨大彫刻を中心に珪藻化石の映像の投影、100枚の抽象画による壁面装飾で幻想的な空間を演出しました。

さらに、3日(土)、4日(日)には、大学院音楽コースの有志の皆さんとのコラボレーションとして、2会場全8公演のアートパフォーマンスも実施、蔵のアートパフォーマンスのための書き下ろし曲やバイオリンの生の演奏と合わせて行ったダンスパフォーマンスは、来場者からも「心が震えた」とご感想をいただきました。

今年度の院生展では、空間インスタレーションや音楽コースとのコラボレーションなど新たな取り組みに挑戦しました。来場者は4日間で154名。そこから得られた経験や、人、地域とのつながりが各自のさらなる目標へとつながる展示会となりました。これからも自己の研究や制作の質に妥協せず、さらに開かれた美術分野の可能性を探求し、切磋琢磨して取り組んでいきたいと思えます。



修了生の住所等をお知らせください

転居・転職・結婚等により個人情報の変更があった場合は、お知らせください。
詳細については、公式ホームページをご覧ください。

上越教育大学 同窓会

お問い合わせ先 上越教育大学大学院同窓会事務局
E-mail dousoukai@juen.ac.jp